

# ほんのひろば

2018年

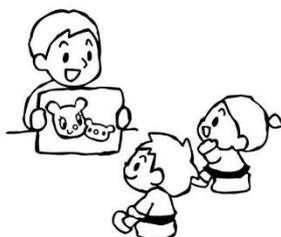
第27号



## おはなしかいのお知らせ

みんなは、おはなしかいにきたことはあるかな？ 学習センター・和室でまってるよ♪

おはなしひろば  
4さい～小学生むけ



これからの よてい

ひにち	テーマ
7月7日(土)※	七夕
8月4日(土)	こわいはなし
9月9日(日)	お月見

※ 年に2回のおはなしかいスペシャルです。

★毎月1回(予定を確認してください) ★午前11時～11時45分

★テーマにあわせた絵本のよみきかせ、本の紹介、手あそびなど。

※おはなしかいのスタンプカードがあります。スタンプをあつめるとプレゼントがもらえるよ。

おひざにだっこの  
おはなしかい

3さいまでのお子さんと保護者むけ



これからの よてい

7月12日
8月9日
9月13日※
10月11日

※ 年に2回のおはなしかいスペシャルです。

おはなしかいのようす

「おひざにだっこのおはなしかいスペシャル」のようすです(29年度)。和室に集まって、楽しくおはなしを聞いています。パネルシアターや大きな絵本など、めずらしいプログラムも見どころです！



# としょかん おすすめのほん



## 『大根はエライ』

久住 昌之／文・絵 福音館書店 (B62-クスミ)



料理のわき役にすることが多くて、あまり自立しない大根。でも、いっしょに調理される食べ物の味をおいしく引き立てる実力があります。日本のしょくたくでは大根おろしやつけもの、にものなど大かつやく！ そんな大根のエライところをたくさん発見できる本です。

## 『ドアのノブさん』

大久保 雨咲／作 ニシワキ タダシ／絵  
講談社 (Y913-オオク)



ドアの取っ手のノブさんの家に新しく田中さん一家が引っこしてきました。けれど、ノブさんをらっぽうにまわす男の子に、いじわるをしてしまいます。そんなある日、男の子が悲しそうに学校から帰ってきて……。

ほかにも、短いお話が4つ入っています。

## 『おもちのかみさま』

かとう まふみ／著 佼成出版社 (E-カトウ)



女の子が台所でみつけたおもちは、いくら焼いてもかたくてふくらみません。だれにも食べられたくないおもちは、どんなに強い火でもふくらまないように、もっとかたくなるしゅぎょうをはじめます。

## 『数え方のえほん』

高野 紀子／作

あすなる書房 (B81-タカノ)



物事には、いろいろな数え方があります。料理のときの「ひとつまみ」や「ひとつくい」は、どのくらいの量か、知っていますか？ また、動物の数を数えるとき、「匹」と「頭」をどんなふうに分けていますか？ かわいい絵で分かりやすく勉強できます。

## 『霧のなかの白い犬』

アン・ブース／著 杉田 七重／訳 橋 賢亀／絵

あかね書房 (Y93-ブスア)



おばあちゃんが、犬のスノーウィを飼いはじめて嬉しいジェシー。けれど、同じころからおばあちゃんに痴呆の症状が現れるようになります。少女のようにおびえていたおばあちゃんが心配なジェシーは、やがてその悲しい過去を知ることになり……。

## 『2ひきのねこ』

宇野 亞喜良／作 ブロンズ新社 (E-ウノア)



ボンボン、ももちゃんに飼われているねこ。ある日、新しくすなこというねこがやってきてから、ももちゃんはすなこの方ばかり見えています。さびしくなったボンボンは、ももちゃんに振り向いてほしくて、すなこのまねをしてみることに！？



# おはなしひろばで しょうかいした ほん



## テーマ・鬼



『泣いた赤おに』（Eーカジヤ）

浜田 廣介／著 梶山 俊夫／絵 偕成社

村の人たちと仲良くしたいと思っている、心のやさしい赤おに。家のまえにたてふだをたて、お茶やおかしを用意して、あそびに来てくれるのを待っています。けれど、村の人たちは信じてくれません。がっかりする赤おにのもとに、青おにがやってきて……。



## テーマ・干支にちなんで・いぬ

『ずーっとずっとだいすきだよ』（Eービルへ）

ハンス・ウィルヘルム／えとぶん

久山 太一／やく 評論社

「ぼく」と飼い犬のエルフィーはずっと一緒に育ってきました。年をとったエルフィーとの永遠の別れが近づく中、「ぼく」は寝る前に、必ずエルフィーに大好きな気持ちを伝えます。

『みんなであそぼう校内あそび 4』

(B78ーミンナ) 嶋野 道弘／監修 ポプラ社

この本では、いろいろな種類のおにごっこを紹介しています。おにが一人で追いかけるおにごっこだけではなく、なかまをふやすおにごっこや、わになったままできるおにごっこなど、場所や人数によって変えるいろいろな遊びかたを知ることができます。

『十二支のはやくちことばえほん』（Eータカバ）

高畠 純／作 教育画劇

十二支でおなじみの動物たちが、早口ことばの世界でも舌をかみかみ大活躍です。声に出して、友達や家族と楽しく言いっこしてみましょ。きっと笑いがうまれるはず。じょうずにぜんぶ言えますか？

『かえるをのんだととさん』（Eーサイト）

日野 十成／再話 斎藤 隆夫／絵

福音館書店

ある日、ととさんのはらがいたくなりました。おしょうさまにそうだとすると、はらのなかのむしのせいだから、かえるをのむように言われます。言うとおりにしたら、いたみはなくなりましたが、今度はかえるのせいでもちわるなくなってきました。さて、どうしましょう？



『それはすごいなりっぱだね!』（Eータカハ）

いちかわ けいこ／文 たかはし かずえ／絵

アリス館

ちょっととぼけたかわいい犬。出会った動物たちに彼らが大きくなったら何になるのか、教えてもらいます。犬といっしょにおどろきながら、クイズのように楽しめる絵本です。こんなふうにはめてくれたら、うれしくなってしまうかも!?



# おひざにだっこのおはなしかいで しょうかいした ほん

『ねずみのすもう』（Eーワタナ）わたなべ さもじろう／絵 鈴木出版

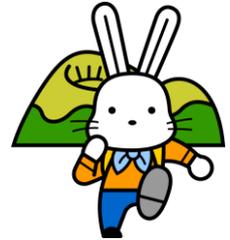
あるひ、ねずみのすもうをみかけたおじいさん。まけてばかりいる、やせているねずみにもちをつくって、ちからをつけさせようとして。さて、しょうぶはどうなるのでしょうか？

『でんしゃにのって』（Eートヨタ）とよた かずひこ／著 アリス館

うらちゃんはおばあちゃんにあいに、ひとりででんしゃにのります。そのうち、いろんなどうぶつがでんしゃにのりこんできて、でんしゃのなかはまんいんに……。



# いいざか巡たんけん



なかのふどうそん  
～中野不動尊～

なかのふどうさまとも呼ばれ、むかししたなかのふどうそんせいしきめいしょう  
中野のお不動様とも呼ばれ、昔から親しまれてきた中野不動尊は、正式名称が  
なかのさんたいしょうじてらけいめいおしょうほんてん  
中野山大正寺というお寺です。恵明和尚が梵天をくわえたカモシカに連れられて、こ  
やまはいやまがみつふどうみょうおうきげん  
の山に入り、山神のお告げをうけて、不動明王をまつりはじめたのが起源といわれ、  
へいあんじだいいじょうねんねんひら  
平安時代の治承3年（1179年）に開かれました。

こだちかこけいだいしゆだいにちどうきどうふどうたきさんどうおく  
木立に囲まれた境内には、朱ぬりの大日堂や祈とう堂、不動滝などがあり、参道の奥  
どうくつつづどうくつしゆげんじゃどうちゆう  
は洞窟へと続いています。この洞窟は修験者のためにつくられたもので、道中にはい  
こべやねとざぜんく  
くつか小部屋があり、そこで寝泊まりしながら座禅を組んでいたといわれています。

たいしょうじねんしはつとくべつやくよおこなとし  
大正寺では年始の初もうではじまり、特別な厄除けを行う歳まつりやおしゃかさ  
まのたんじょうびいわはないちねんとおぎょうじしき  
まの誕生日を祝う花まつりなど一年を通してさまざまな行事があります。時期をかえ  
おとずけいだいしぜんきせつうつたの  
て訪れ、境内の自然といっしょに季節の移ろいを楽しんでみてはいかがでしょうか。

## <参考にした本>

『ふくしまの古寺社紀行』 植田 龍／著 歴史春秋出版 (K185-ウエダ)

『福島市寺院名鑑』 福島市仏教会／刊行 福島市寺院名鑑刊行会／刊行 信楽社 (K185-フクシ)

『ふるさと探訪信夫路 福島市 二本松市 伊達郡 安達郡』 小林金次郎／著 歴史春秋社 (K291.2-コバヤ)

『信夫の史蹟めぐり』 高橋 貞夫／著 歴史春秋出版 (K291.2-タカハ)

ほんのひろば 第27号 2018年7月発行

編集：飯坂学習センター図書室

〒960-0201 福島市飯坂町字銀杏6-11 Tel 542-2122

発行：福島市立図書館

〒960-8018 福島市松木町1-1 Tel 531-6551

ホームページ <http://www.city.fukushima.fukushima.jp/tosyo-kanri/kanko/toshokan/>

携帯ホームページ <http://www.city.fukushima.fukushima.jp/mobile/library/>



携帯サイトからも  
蔵書検索ができます。

